

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

平成27年10月23日 午前9時30分 開議

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	林 正 美
委 員	小 田 伊佐浩
委 員	柳 瀬 ひろみ
委 員	菅 沼 由貴子

説明のための出席者

教育部長	柴 谷 好 輝
教育部次長	赤 谷 雄 助
教育部次長兼中央図書館長	中 森 利 仁
庶務課長	鈴 木 敏 彰
学校教育課主幹	山 田 佳 宏
生涯学習課長	前 田 清 彦
スポーツ課長	中 村 幸 夫
学校給食課長	大 林 充 始
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司

教育長が指定した事務局職員

主 事	中 尾 成 利
-----	---------

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第31号議案 平成28年度教職員定期人事異動方針について（非公開）
- 第3 第32号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第4 その他報告 平成27年9月定例会市議会における教育問題について

「高本教育長」 定刻になりましたので、只今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに日程第1、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、小田・菅沼両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 次に日程第2、第31号議案「平成28年度教職員定期人事異動方針について」及び日程第3、第32号議案「教職員の任用について」については職員の人事に関する案件ですので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

異議なしと認め、第31号議案及び第32号議案は非公開とします。それでは、日程第2、第31号議案「平成28年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたします。事務局から提案内容の説明をお願いします。

「山田学校教育課主幹」 第31号議案「平成28年度教職員定期人事異動方針について」を資料に基づいて説明。

(以下、議事内容は教職員人事異動方針に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続いて、日程第3、第32号議案「教職員の任用について」事務局から提案理由の説明をお願いします。

「松平教育部次長」 第32号議案「教職員の任用について」を資料に基づいて説明。

(以下、議事内容は個人情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 次に日程第4、「その他報告 平成27年9月定例会市議会における教育問題について」を議題といたします。それでは事務局から提案事由の説明をお願いします。

「柴谷教育部長」 それでは、平成27年9月定例会市議会における教育問題について、一般質問の内容をご報告させていただきます。

今回の一般質問は全体で16名の議員から24項目の質問がございまして、全体としては教育関係の他、今話題となっておりますマイナンバー制度や空き家対策、来年4月から施行されます障害者差別解消法をはじめ、福祉、防災、環境、観光など多岐にわたっております。教育関係では5名の議員から質問をいただきまして、その質問と答弁につきましては資料の12ページに一覧表、13ページ以降が答弁要旨となっております。

それではまず、早川喬俊議員からの「史跡三河国分寺跡の整備と活用について」の質問でございますが、こちらにつきましては私からご説明させていただきました。資料は13ページから17ページでございます。

まず、「(1) 整備基本構想の進捗状況と暫定活用について」では、基本構想に基づく公有化等の状況と暫定活用の考えを、「(2) 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業について」では、資料の13ページ、14ページになりますが、文化庁の補助メニューと補助率、先行事例である三河国分寺跡の整備メニュー、また歴史的建造物の

実物大復元の条件として、基本的に当時の材料・工法等を用い、建物としての安全性を確保する必要があることを、「(3) 塔跡の整備手法について」では、資料の14、15ページになりますが、木造復元は技術的にも困難である事、復元方法としては、全国的には別の場所での縮小復元模型の設置事例はいくつかあること、また木造復元には一重あたり10億円程度の事業費がかかるともされ、技術面・費用面で復元は困難と考えられること、「(4) 文化財のネットワークについて」は、資料の15、16ページになりますがけれども、国分尼寺跡史跡公園10周年記念事業の内容と周辺の文化財の現状、今後の課題、また、天平ロマンの夕べ、天平の里資料館の入場者数が前年度を上回っていることから文化財のネットワーク化の取り組みの効果が表れていると考えられること、「(5) 日本遺産の認定申請について」では、資料16ページ以降になりますがけれども、認定制度の内容と認定の要件、またインパクトのある三河国分寺跡の活用方法として、最近では現地の景観とCG映像を組み合わせたバーチャル映像が可能であることから、今後の整備基本計画策定の際には、ソフト面での活用の検討も大切と考えているとお答えしました。

次に、神谷謙太郎議員から、小中学校の教育環境の改善・整備についてのご質問がございました。資料は18ページから21ページでございます。こちらにつきましては、まず、私からご説明させていただきました。最初に「(1) 老朽化する校舎等への対応について」では、現状と課題、調査方法と修繕等の方法、また計画的な維持修繕や改修への取り組みの考えについて、次に「(2) トイレ洋式化・空調設備など子どもたちの学習環境を向上させる施設改善への取り組みについて」では、資料の19ページ以降になりますがけれども、トイレ改修の整備内容と早期実現の為の課題と対策、そして、空調設備の設置状況及び普通教室での扇風機の設置状況と評価、課題、また、普通教室への空調設備の設置の県内他市の事例についてご説明いたしました。最後に委員の皆様もご承知のように、普通教室への空調設備設置の早期実現に対する市の考えをとのご質問には、資料は21ページになりますけれども、市長が答えられました。近年の猛暑の状況を説明され、学習活動の中心となる普通教室における抜本的な暑さ対策として、エアコン設置は必要な対策と考えており、実現していきたい。また、子どもたちの健康面への有効な対策になる事はもちろん、確実に学力向上に繋がると期待する。更に、サマースクールや児童クラブなど夏休み期間の教室の活用の幅も広がる他、余裕も持った授業編成の可能性も広がるため、財源の問題等はあるが調査等のうえ、しっかりと計画を立て早期実現を目指したいと答えられました。

次に、榊原洋二議員から豊川市の教育の現状と今後の方針についてご質問がございました。資料は22ページから27ページになります。最初に「(1) 本市の教育の現状と新教育長の所信表明について」、教育長が大きく3点に分けて順次答えられました。

1点目に、児童・生徒に関わる事として、いじめや不登校に関わる問題や、就学の傾向が変わり通常の学級に発達障害のある児童・生徒が増加している中、心の通い合

った信頼関係を築くことが全ての学習の基盤であり、わかる授業の実践を通して、子どもたちに確かな学力を身につけさせ、次の学習指導要領の内容に合わせた準備を進め教科指導が充実するよう努めていきたい。

2点目に、教職員に関わることとして、経験年数10年以下の教職員が5割近くを占める中、教職員の資質向上を図る事は必要不可欠であり、各種研修を見直し、優れた講師を迎えるなどして、充実を図るとともに、教員国内研修事業を活用した施策や学校運営に活かしていきたい。

3点目に、学校教育全般に関わることとして、今後の小学校の英語科創設や道徳の教科化により今の子どもたちが学校で学ぶべきこと、身に付けるべきことが多くなり、これに伴い教員が教えるべき事、学校でやるべき事も増えると共にいじめや不登校をはじめ特別な支援を必要とする児童・生徒への対応もより多様化・複雑化してくるため、より信頼される学校運営と指導の充実の為に、家庭、地域、学校などの関係機関が相互に連携を深め、子どもたちへの教育に当たっていく必要性が益々高まっている。以上のような現状を踏まえ、引き続きいじめや不登校、問題行動への指導体制の充実と特別支援教育の推進を図っていくとともに、開かれた学校づくりを継続し、特色ある教育活動の創意工夫と展開に努め、積極的に学校からの情報を発信し、家庭や地域との一層の連携を図っていくと答えられました。

この後、23ページ以降になりますが、(2)から(4)として郷土教育やモデル校の考え方、現在の豊川市教育振興基本計画の進行状況についての質問に教育長と私がお答えいたしました。最後に、次期豊川市教育振興基本計画の方針について、教育長から、今年度実施する市民アンケートの結果を、教育振興基本計画策定委員会での審議に活用し計画に盛り込むべき内容、方向性を見極めると共に、総合教育会議の場において市長を交えて、豊川市教育大綱とも関連させて次期計画を策定していくと答えられました。

次に、石原政明議員からの新教育委員会制度についての質問に、教育長が答えられました。資料は28ページから33ページになります。まず「(1)教育委員会から見た総合教育会議について」ということで、総合教育会議で協議、調整される主な課題や取り組み、今後の見通し、また、教育大綱の意義と経過及び内容について説明をされました。次に、「(2)本市教育大綱(案)から見る取り組みについて」のご質問があり、「①基本目標1、いじめ・不登校などへの対応について」では、資料31、32ページになりますけれども、定義と認知件数、具体的な取り組み等を答えられるとともに、いじめがきっかけで不登校になった児童生徒の報告はここ数年ないが、いじめ以外の友人関係を巡る問題で不登校になっている者がいるので、今後とも学校と家庭、地域社会が十分に連携をとっていくことが重要であり、そのために信頼関係で結ばれている事が大切であると答えられました。②「基本目標2、学力向上・教職員の資質向上について」では、資料の33ページになりますけれども、本市の全国学力学習調査の結果及び教員の資質向上に向けての具体的な取り組みを答えられた後、教員の多

忙化解消の考え方ということで、各学校での時間短縮や効率化への努力、複数教員によるきめ細かなサポート体制、学校事務職員による教員の事務負担軽減を説明され、平成29年度の校務支援ソフトの本格導入を目指して、現在検討を進めていると答えられました。

最後に、中村浩之議員から豊川市のスポーツ振興についてのご質問があり、私からお答えいたしました。資料は34ページから38ページになります。

まず「(1) 豊川市スポーツ振興計画(改訂版)について」では、改訂の理由と今回行ったアンケートの結果によるスポーツの実施状況、今後の課題を、市民体育大会は多数の市民がスポーツに親しむ重要な大会であるので、引き続き充実させる必要があるとご説明いたしました。

「(2) 豊川市市民体育大会について」については、資料の35、36ページになりますけれども、大会の歴史と趣旨、参加方法と競技種目、また、大会への各校区の参加状況をご説明し、旧豊川市内の校区に比べ旧町の校区は大会種目への馴染みが薄く、選手集めができずに棄権する種目が多い傾向にあるとお答えしました。

「(3) 市民体育大会を活性化させるために」では、資料は36ページ以降になりますけれども、大会種目の変遷と校区の参加状況等を踏まえ、その都度関係者の意見を伺いながら検討を重ね実施種目の変更などが行われてきた事、問題点改善の為の検討状況などについてご説明した後、大会を活性化させるための改善策として、ソフトボールとバレーボールは青年の部と一般の部の合併チームを編成すること、小学生男子ソフトボールは将来的にはサッカーなどの種目へ変更することを引き続き検討していくとお答えいたしました。

以上、一般質問の概要を報告させて頂きました。よろしくお願いたします。

「高本教育長」 ありがとうございます。12ページから38ページにわたって、たくさん資料を基に一般質問の教育問題について報告を受けました。それでは、ご質問・ご意見がありまらお願いいたします。

「林委員」 よろしいですか。答弁についてはしっかり説明されているのでよく分かりますが、質問された議員さんがどのような意図で質問されているのかが気になりました。というのは、内容を見ていくと、ほとんどの質問がハード面についての質問になっていますね。その前に議員の持っている考えというのが当然あるわけであって、そのあたりが知りたいと思いました。例えば、早川議員は国分寺、国分尼寺について、質問されたあとでどのようなお考えを持っているのか、答弁要旨では分からないものですから、教えていただきたいです。私としては、国分寺や国分尼寺についてはハード面の整備よりも、豊川市民が豊川の財産、文化財であると誇りを持てるかどうかが一番の勝負であると思っているものですから、そのあたりが気になるところですので、分かりましたら教えてください。

「前田生涯学習課長」 今のご質問ですが、早川議員からのご質問には、地元から国分寺跡に塔を建てたいという声があがっているが、実現できるものなのかというハード

面のお考えが前提としてありました。国分寺跡に塔を建てたいというのは、豊川市に限らず、隣の静岡県磐田市においても、市役所の前にある国分寺跡に七重の塔を建てたい、観光資源にしたいなど、いろいろな意味で話題にあがるようです。今回もいろいろ答弁のお答えをしましたが、具体的には、ソフト面でどのようなことができるか、例えば国分尼寺でボランティアさんが活躍いただいているように、地域の方々が地元の文化財に誇りを持って協力していただくなど、ソフト面でどう活かしていくかが大切だと思っております。今回も、ご質問は塔を建てたいというハード面のお話ではありましたが、最後には将来的にソフト面でどうやって代替として実現するか、そのような話の流れで説明させていただきました。

「高本教育長」 その他の質問で、林委員が言われるように、各議員の思いが熱く語られたようなお話があれば、紹介していただけますか。

「林委員」 特に小中学校の校舎老朽化は、議会ですつと言われていることですよね。それが、実際に議員が学校に行かれて、自分の思いで述べられているのか、それとも一般論として言われているのでしょうか。

「高本教育長」 神谷議員は、環境の改善整備について、何か思いを述べられましたか。

「鈴木庶務課長」 議員の方々から、個別にお話を伺う機会がございます。神谷議員も、会派の若手議員からのお話や、地元の国府地区で抱えている問題の中で、学校の老朽化が進んでいるという懸念は持っていらっしゃると思います。ただ、一般質問でございますので、質問の趣旨としては、個別の事を言われるのではなく、全体的なこととしてご質問され、それに対してお答えをしております。

「高本教育長」 私の印象ですと、議員によって多少差はあるかもしれませんが、議員の皆様は学校の様子など良く見に行かれていて、ただ話を伝え聞いているだけではない方が多いと感じています。その他に、ご質問、ご意見はございますか。

「小田委員」 とよかわ未来からの質問ばかりですね。その他の党からの質問がないですね。

「高本教育長」 共産党、公明党、ひとり会派の方も質問はされているのですか。

「柴谷教育部長」 質問はされています。教育関係がなかっただけということです。

「高本教育長」 他にありませんか。

「小田委員」 33ページの教員の研修について、豊川の教育を考える会を立ち上げ「豊川の授業」を作成しているという答弁ですが、具体的に「豊川の授業」とはどのようなものでしょうか。

「山田学校教育主幹」 これは答弁要旨なので要約しておりますが、質問された議員へはご説明しております。「豊川の授業」というのは、小中学校どの学校でも豊川の先生ならばこのような授業をしましょうという基本的な方針を、各校の中心メンバーが集まって検討しております。中心メンバーとして、若手から中堅を含めまして、市内各校から授業が上手な教員たちにより、教科や小学校、中学校に関わらず、豊川市の授業として教員全体が目指したいものを、現在作成しています。これを基に来年度の

授業で実践します。教員がお互いの学校を訪問して授業を見学する際にも、同じ方向性で授業ができていのかどうか判断する資料にもなりますので、そのために現在取り組んでいるところです。

「高本教育長」 豊川の授業の基準となるものを作っているということですね。最終的には冊子になるのですか。

「山田学校教育主幹」 最終的にはプリントで数枚の容量にまとめて、それを各校にデータで送付し、全ての教員に配布したいと思っております。

「高本教育長」 データ配布ですね。

「山田学校教育主幹」 これについては現職研修委員会でも取り上げ、学校長にも確認するなど精査したうえで、最終的に各校へ配布したいと思っております。

「小田委員」 これまでの教員研修とはすごく感じが違うなと感じたのですが、紙で授業の方法を伝えようとしても、体の動きや声のメリハリなどはなかなか伝わらないものがあると思いますので、できれば動画としてDVDに収録した解説書として、初任者研修等で活用できたら、すごく良いことだと思います。それが1つできたから終了ではなく、毎年は無理でも、3年に1回程度更新するなどして推進していけると良いと思います。

「菅沼委員」 本当に一般的な、模範的な授業としてみんなに分かりやすく、みんなが勉強できるという授業ですよ。だから「豊川の教育」ということですね。

「高本教育長」 いい授業には当然共通点があるものですから、共通点をピックアップして示していくと凄くいいと思うのですよね。

「小田委員」 重要なのが声の張り方だという場合には映像が必要ですね。

「菅沼委員」 映像化してDVDを作成した方が良いですよ。ただ単に話しているだけでなく、抑揚の付け方も勉強になりますからね。

「高本教育長」 委員のみなさんのご意見では、紙で読むだけではなくて映像として見ることができるお手本があると良いということですね。模範授業のようなことは今までも実施しているのですが、残念ながらDVD等で映像記録として残すことは、これまで実施したことがないので、委員の皆さんのご意見を参考にさせていただきます。

「小田委員」 全国的に実施すれば、これはすごい授業力の共有ができるようになるかもしれない。CCネットで放送するというような試みも出来るのではないのでしょうか。内容次第だと思います。

「高本教育長」 確かに最終的には内容次第だと思います。では、今のご意見を参考に研究を進めるということでもよろしいでしょうか。

「林委員」 もう1つよろしいでしょうか。やはり一番気になることは21ページの空調設備整備に対する市長の答弁ですね。整備を行うことで確実に学力向上に繋がるといふ説明をされているのですが、議会での市長の発言は非常に重いものがあると思いますので、大丈夫でしょうか。

「鈴木庶務課長」 お答えします。空調設備整備につきましては、市長のお考えをお聞

きしていますが、整備した翌年から、学力が直ちに目に見えて上がるというイメージはお持ちではなく、長い目で見て、学習環境を整えることで、学力向上の面でも反映されるだろうという思いで答弁されています。

「菅沼委員」 私が少し聞いたところでは、空調設備の整備が行われることで、これまで暑くて勉強に意欲が出なかった子どもたちが、涼しくなることで集中力が上がって、例えば、少し平均を下回る子が平均まで成績があがるといったことはあるかもしれませんが、そこからさらにやる気を持つかと言うと、今のところそのようなデータもないということでしたので、学力向上に繋がる施策ということだけがあまりにも強調されてしまうと、結果が伴わなかった場合に困るのではという感じもします。

「林委員」 私が一番心配しているのは、いつも言っているように、学力は学校だけでどうこうできる問題ではないので、市長がこのように発言された以上は、教育委員会として方針を持って施策を展開していく必要があると思います。例えば、もっと家庭との連携を図って学力向上に努めるなど、必要な施策を実施していかないと、市長が答弁しただけになってしまいますので、それでは淋しいなあという気がします。

先ほど、「豊川の授業」で小田委員が質問されたように、まさしく、授業力向上で豊川市はがんばっていますので、そういったことに結びつけながら、豊川市は子どもたちの学力向上に努めますということを、積極的に打ち出してほしいと思います。

「小田委員」 私のエアコンに関しての個人的な意見として、学力向上のためというよりも、今の豊川市で市民が普通に生活しようとするならば、エアコン無しの生活は考えられないと思っています。だから、大事にしなければいけない子どもたちが、長い時間生活する公共の施設にエアコンがないのは、行政としてはやはりおかしいということから、エアコンを設置する必要があるということだと思っております。だから、エアコン設置に関しては何の反対もなく当たり前であろうと思います。体力的に弱い子どもたちのための設置なのだから、変に目的を感じる必要はないというのが私の意見です。

もう1つは、複数の校長先生や学校現場の先生方とお話していると、エアコンは当然あったほうが良いものですが、その前に臭うトイレを改善して欲しいなどの意見をお聞きします。まさに今、「豊川の授業」を作っていると説明いただきましたが、授業力をアップさせるための先生が授業に集中できるような環境、例えば、人員を増やし、先生が病気などで欠けることになっても、授業力の向上が支障なく推進できるような人員に関わる環境の充実が1番、2番目がトイレ、3番目ぐらいにエアコンというようなことを複数の先生方が言われています。

「菅沼委員」 お金をかける優先順位の希望だと思いますが、そのような考え方の先生方もいらっしゃるということですね。

「高本教育長」 エアコンのことで言いますと、さきほど林委員も言われましたが、その整備と学力向上を費用対効果だけで結びつけるのは厳しいと思います。エアコン整備と併せて、その他の施策を実施することで学力向上を図ることが大きな検討

課題になると考えています。

「柳瀬委員」 もしかしたら、エアコンを設置することで夏期講習等を実施することができるようになり、普段から授業の時間数が足りない状況が改善されるかもしれないと期待されている校長先生もいらっしゃいましたし、逆に、エアコンを全校に整備するほどの予算があるのであれば、施設の改修にお金を使って欲しいと言われる校長先生もいらっしゃいました。

4年間で全ての小中学校へエアコンを整備する計画とお聞きして驚きましたが、大きな予算を使って実施する事業ですので、市長や教育委員会、それと学校の先生方が協力して、良い効果が生まれる事業にしていきたいと思います。

「高本教育長」 ありがとうございます。その他にエアコンに関してご意見、ご報告などございますか。

「菅沼委員」 ひとつだけよろしいですか。市長の考え方としてはエアコン整備に関して、全ての普通教室へ設置を予定しているわけですね。特別教室は未整備な教室も多いと思うのですが、今のところは普通教室を優先して整備していくということですよ。

「鈴木庶務課長」 今回の計画では、あくまで普通教室に入れるということです。

ただ、菅沼委員が言われるように、現在は、特別教室の3分の2以上に空調が整備されていない状況です。そのため、今後の特別教室への整備については、教室の状況等に応じて整備方法などを、ある程度の期間をかけて計画していく必要があると考えています。

「菅沼委員」 どうしてこの質問をさせていただいたかと言いますと、音楽の授業の音がかなり聞こえる中でその他の授業をしていますよね。私自身は、音が校舎の外に漏れても、一所懸命音楽の授業やっているなあとか、一緒に歌が歌えて良いなあと感じますが、すぐ隣の教室で静かに算数の授業をしていたりする場合がありますし、また、学校周辺にもいろいろな状況がある今、近所の方々から騒音の苦情があるとも聞いています。

中学校は部活動のこともあり、窓を閉めるために音楽室へエアコンが整備されたと聞いていますが、小学校は整備がされていませんので、優先順位として、普通教室が先で良いのかと思ってお聞きしました。

「高本教育長」 確かに中学校の音楽室の場合は、防音対策として、窓を開けなくてもすむようにエアコンの整備を行ったとお聞きしています。教室の使い方を考えると、その他の特別教室よりも音楽室のほうがよく使われますね。家庭科はその時の内容によって家庭科室でやったり、教室でやったりできますから。

「菅沼委員」 音楽室は普通教室に近い場所にあることが多いですよ。家庭科室は普通教室と階が違うことが多いと思います。

「高本教育長」 林委員は理科を教えていらっしゃったと思いますが、理科室はどうでしたか。

「林委員」 理科室は3階、4階にあることが多いですから風通しも結構良いですし、教室が広いのでそんなに暑苦しさは感じませんでした。

「高本教育長」 この先、エアコン整備が特別教室まで広がるかどうかは分かりませんが、広がっていった場合については、今のご意見を参考にさせていただきます。

他にありませんか。なければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

異議なしと認め、日程第4「その他報告 平成27年9月定例市議会における教育問題について」は報告の通り承認されました。

本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会を閉会します。ありがとうございました。

(午前10時40分 閉会)